

ふじみさらだボール子育て情報



「ゆったりとした生活」

令和7年5月21日号

板橋富士見幼稚園



考える遊び

五感は子どもの言葉や認知を加速させます。見ること、聞くこと、触ること、嗅ぐこと、触ることは、子どもが成長するための栄養素です。この栄養素は、子どもの遊びの時間や居場所の中で、主体的自発行動を介して起こってきます。こどもが豊かに成長するためには、焦り、緊張、恐れは禁物です。大人からの強い指示や命令、大人の意図や都合で場を押し付けるなどの行為は、子どもにとってストレスとなります。そしてこのストレスが、「考える力」を鈍らせてしまうこともあります。

子どもに遊びを与えるときは、十分な時間と空間（人混みの少ない場所）の中で、ゆったりと遊ばせてみてください。人間がもともと持っている器官にスイッチが入って五感が働きだし、その感覚が感情と結びれて言葉を獲得すると言われます。

実は幼児の遊びには、このような条件が求められているのです。そのため、一番手っ取り早い遊び場は自然です。自然は、大人が関わらずしても子どもの主体的行動が促され、見たものを触ったり、匂うものがあれば嗅いたり、「なんだろう？」と思えばじっと見つめたりと、好奇心・興味関心・探求心・情緒的感心などに刺激を与えます。豊かな言葉を獲得し、人に伝えたりすることで、認知や記憶といった機能へも発展し、知的発達を加速させます。

“ゆったり感”は、考える時間を十分に与えることから、遊びが広がり深まるといわれています。遊んでいるときは、少し離れたところから、じっと見守ってあげてください。

【イチゴのジュース】

23日の収穫祭に向けて、年長さんがイチゴのジュースの試作をしました。美味しいジュースにする為にイチゴの数や砂糖の量をみんなで話合って決めました。「甘い」「いい匂い」「ドロドロしてる」「つぶつぶがある！」など、たくさんの発見とともに言葉があふれてきました。



【みんなで数を数えながらミキサーへ】

【砂糖とイチゴを増やしたら…甘くて美味しい！】